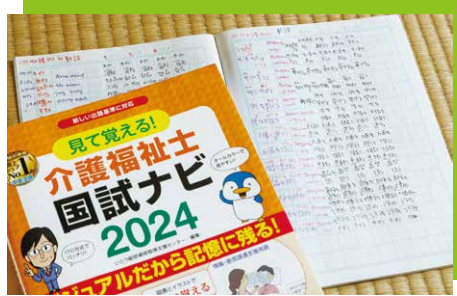


ラーメン



勉強



水筒



MELIANA RONASIP SILALAH

今号の表紙

杜の家くりもと
施設福祉サービス部
生活支援課 ケアサービスワーカー

メリアナ ロナシプ

シリラヒさんの

6つのポイント



AGE

24



大里てるさん

花火



ウロス



3年前、日本に来るときに両親からもらったウロスを、アパートで大切に飾っています。ウロスは、わたしの故郷スマトラ島の伝統的な手織り布で、人生の大きなお祝いに「いつでもどこでも神様が守ってくれるように」と願いを込めて贈られるものです。ウロスの上にあるハート型のオブジェは、バレンタインに彼氏がくれたプレゼント。ポッキーの箱でできています(笑)。インドネシアでは男性から女性へチョコを贈るんです。

学生時代は看護を専攻していたし、もともと人と話すことが大好きなので、介護の仕事はとても楽しい。もっともっとできるようになりたいと、毎日仕事が終わってから日本語能力試験や介護福祉士試験の勉強をしています。

いつも使っている水筒のカバーは、大里てるさんが編んでくださいました。入社時からのユニットの入居者さんです。毛糸の編み物がすごく上手で、季節に合わせて、お花や鯉のぼりといった飾りもつくってくれます。「杜の家」で働きはじめて、季節の変化や行事の大切さがよくわかるようになりました。だから、お花見をしたり、一緒にクリスマスツリーを飾ったり、入居者さんにはできるだけ季節を感じて楽しんでもらうことを大事にしています。

日本の四季はわたしも大好きです。春は桜、秋は紅葉が美しく、冬はスノボもできる。夏は去年初めて行った神宮外苑の花火がとてもきれいでした。いずれ両親を日本に呼んで、いろいろ案内したいですね。おいしいラーメン屋さんにも連れていきたい。週に1、2回は食べにいきます。最近はお小見川の香湯ラーメンがお気に入りです。



笑顔と力を引き出す介護福祉士を目指して

杜の家なりた ^{たかひと} 坂本隆仁さんインタビュー



3丁目東のリビングで利用者と話す坂本さん

坂本隆仁さん（33）は、「杜の家なりた」の特養で、現在はユニットサブリーダーを担っている。介護の道に進んだきっかけは、高校時代に脳梗塞で倒れた祖父の存在があった。「祖父に声をかけながら顔を拭いたことがあって。なんとなくだけど、自分にも介護の仕事はできるかもしれないと思ったんです」と当時を振り返る。

介護職員として働いて今年で12年目になる。2022年に福祉楽団に入職するまでは、老人保健福祉施設や小規模多機能型居宅介護で経験を積んできた。「『杜の家なりた』は、入居者さんの数に

対して職員の数が多いところが魅力。一人ひとりとかかわれる環境があるところがいい」と語る。ケアで坂本さんが大切にしていることは、身体の機能を維持したりその人が持つ力を引き出したりすることを、入居者さん自身が楽しみながら行うこと。「デイサービスの職員に特養でもレクリエーションを取り入れたいって話をしたら共感してくれました。さっそく輪投げセットを借りて、ユニットで輪投げ大会をしたんです」。輪投げの動作を通して、入居者さんそれぞれの腕の力や手の動きを観察することができた。また、輪投げの様子を介護記録システム“ケアコラボ”で動画に残したところ、ご家族から『楽しそうですね』とのコメントもあり、「入居者さんの生活がご家族にも伝わって嬉しい」と、坂本さん自身もケアを楽しんでいる様子が伝わってきた。

坂本さんは入職してまだ1年半だが、彼のかかわりが入居者さんの健康の一助となり、日々の生活に活気をもたらしていることが分かった。4月からは別のユニットに異動し、新たに出会う入居者さんとも、一人ひとりとかかわりを大切にしているのが想像できる。これからも、介護福祉士としてその人の持てる力を生かしたケアを展開していってくれることを期待したい。



text:
杜の家なりた
青木 さとみ



日本航空で働きたい！

1Kで働く 宮下聡太郎さん親子インタビュー

笑顔がチャーミングな宮下聡太郎さん（19）は、2023年の春から「栗源第一薪炭供給所（1K）」の就労継続支援B型の利用者として働いている。「香取CCC」が主催する地域向けのイベントの受付係と一緒に担ってくれている母の奈津子さんと話を伺った。

視覚的な空間認識に困難さを抱える聡太郎さんは、山梨県の盲学校に通っていた。卒業後、千葉県で暮らす叔母の生活をサポートするために、奈津子さんと2人で香取市に移住し「1K」で働くことを決めた。就労初日は土砂降り、音に敏感な聡太郎さんが悪い印象を持ってしまわないかと心配したが、「楽しかった!」の感想に奈津子さんは驚いた。最近、建物の清掃作業や同僚の昼食準備など、幅広い作業を



掃き掃除をする聡太郎さん

している。「次は何をやりますか?」と先輩に聞く姿からは、できることが増える楽しさを実感しているように見える。屋外や広い空間で身体を動かす「1K」は、聡太郎さんに合っていたのかもしれない。

移住後に飛行機が大好き



左は母の奈津子さん

になり、今は飛行機撮影の聖地である成田市の「さくらの山公園」で撮影をしているYouTuberのファンになった。年相応に母とはケンカもするが、「できないことを“できる”にしていきたい」という母の思いを汲んで、最近は自宅でも食器洗いやトイレ掃除をしている。「いつかJALで働きたい」というのが聡太郎さんの目標だ。そう遠くない未来に、伴走する母の元から飛び立っていくかもしれない。これからも、聡太郎さんが伸び伸びと活躍できるように、奈津子さんと一緒に応援していきたい。



text:
香取CCC
高木 亜希子

2024年介護報酬改定

年4,090万円の増収分はすべてを職員の処遇改善に

「2024年介護報酬等の改定に伴う処遇改善の基本方針と検討結果」はこちらをご覧ください



2024年4月1日から介護報酬が改定されました。全体でプラス1.59%の改定となりました。介護サービス利用者にとっては自己負担が増えることとなりますが、事業者にとっては収入が増えることとなります。福祉楽団では今回の改正で増収となる見込みの4,090万円（年額）を、すべて介護職員等の処遇改善にあてることに決定しました。紙おむつや、清拭布のリース料など価格が1.2～1.5倍と急騰しており経営は厳しい状況ですが、経営努力でなんとか吸収し、職員の処遇改善に優先的に取り組むこととします。

2024年1月に介護報酬改定の概要が示されましたので協議をすすめ、3月1日に経営管理職と労働者代表の意見交換を実施し「他社よりも高い水準の処遇改善」「職員の納得感を大切にしていこう」ことなどを確認しています。目玉となる施策は、介護福祉士の資格手当を引き上げて月額30,840円としたほか、現場をとりまとめるユニットリーダーも管理職手当を大幅にアップさせました。奨学金代理返還制度も創設しました。

良い人材が、良い福祉実践につながるという考えで処遇改善を行います。福祉楽団では、制度のスキマを埋めていくような福祉実

践や、解剖生理学に基づいた「科学的な介護」をすすめていくため、その基盤となる職員の処遇を大切にします。

これらの処遇改善を進めた結果、ケアの質が向上しているのか「第三者評価」を受審して確認していく取り組みも同時にすすめてまいります。

資格手当	介護福祉士	月額 25,700円 → 30,840円
	保育士	月額 10,280円 → 17,133円
	社会福祉士	月額 5,140円 → 8,567円
管理職手当	課長級	月額 4,000～8,000円の増額
	ユニットリーダー級	月額 4,000～6,000円の増額
住宅手当	30歳未満の職員の手当上限	月額 25,000円 → 30,000円
夜勤手当	夜勤1回	6,000円 → 7,000円
奨学金代理返還制度の創設	学生支援機構などの奨学金について5年勤務した時点で最大100万円を、10年勤務した時点で、さらに最大100万円の代理返還を行います。1人の職員につき最大で200万円の代理返還を行います。	

千葉と埼玉の社会福祉法人では初!!



text :
コーポレート統括部
岩田 直樹

当法人理事長の飯田大輔が

第24回ヤマト福祉財団「小倉昌男賞」を受賞

贈呈式のダイジェストをYouTubeでご覧いただけます



第24回小倉昌男賞に福祉楽団の理事長飯田大輔が決定し、12月7日に東京駅すぐ前の日本工業倶楽部で、関係者など100名以上が出席するなかで贈呈式が開催されました。この賞は障害のある人の雇用の創出や働く環境の改善に貢献した人を表彰するもので、クロネコヤマトの宅急便の生みの親である小倉昌男さんが創設した「ヤマト福祉財団」が主催しています。

今回の受賞では、「恋する豚研究所」の取り組みが特に評価されました。福祉楽団が障害のある人の仕事づくりに取り組みはじめたきっかけは、2003年に小倉昌男さんの著書『福祉を変える経営』（日経BP）を飯田が読んだことです。福祉をやる人こそ「経営」を学ぶことが重要で、「自分のところの売り物—モノやサービスに「付加価値」をいかにつけていくか、というのは経営の基本」だと書いてあり、目からウロコの学びを得たそうです。福祉楽団では前・理事長在田正則の養豚の技術、おいしい豚肉という基盤があって、豚肉の加工や販売を開始しました。現在は障害のある人54名が障害のない人と一緒に働いています。ライバル商品が多数ある中で

「付加価値」をどうつくるか、百貨店やスーパーマーケットの売り場を確保することはとても難しく、毎月の会議で営業戦略を話し合っています。これからも商売と福祉実践をつなげていく地道な取



贈呈式で花束を受け取る

組みをしていきます。正賞は、この賞のために製作された両宮淳作のブロンズ像「愛」、副賞として賞金100万円が恵贈されました。賞金は全額で「ヤマトHD」の株式を購入しました。職員全員で株価を見守りながら（笑）、これからもクロネコヤマトさんから学んでいきたいと考えています。



text :
栗源事業部
山根 正敬

COVER STORY

杜の家くりもと 施設福祉サービス部 生活支援課 ケアサービスワーカー

メリアナ ロナシプ シララヒさん

休みの日は教会に行くことが多く、写真はパートナーと一緒に都内の教会に行ったときのものです。仕事も語学も勉強熱心で、来年1月の介護福祉士国家試験に向けて、ノートに書かれた文字はびっしりでした。仕事では、職員が親切なことで職場が清潔なことが楽しさにつながっているようです。メリアナさんはプライベートも仕事も勉強も、ぜんぶ楽しんでいることが伝わってきました。



text:
コーポレート統括部
原田 貴征

VOICE

ご利用者やご家族などからハガキやメールなどで寄せられた「声」に対して、職員がお答えします。

ご意見

【杜の家なりた／訪問介護】

初めて来た訪問介護員が、洗髪の力が弱く、福祉用具の使い方も理解していなかった。情報の伝達ができていないのではないかと。

お答えします



宮澤 博臣

杜の家なりた
地域福祉サービス部 生活支援課
訪問介護チーム リーダー

職員全員に入浴介助の実技指導を実施しました。今後も研修を行い、ケアの質の向上を図るとともに、適切な情報伝達を行っていきます。

※掲載しているご意見の内容は個人情報の保護の観点から編集をしています。

視察の受け入れ

ご来訪ありがとうございました

【期間：2023年11月1日～2024年4月30日】

香取市(5名)、ヤマト福祉財団(6名)、JAL ROYAL CATERING(5名)、ワーナーホーム(1名)、生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 千葉県協会(5名)、社会的連帯経済研究会(韓国)(5名)、わかたけ社会センター(2名)、上智大学(18名)、栗源小学校(29名)、みねやま福祉会(4名)、日本フィランソピー協会(2名)、早稲田大学(7名)、木更津市社会福祉協議会(6名)、香取市のボランティア連絡協議会(12名)、台湾(9名)、富田サロンゴースマイル(18名)、千葉エコエネルギー(3名)、横浜市戸塚区舞岡地区社会福祉協議会(25名)、横浜市青葉区上谷本地区民生委員(11名)、東金市社会福祉協議会民生委員(13名) ※順不同・敬称略

ご寄附をありがとうございました

【期間：2023年11月1日～2024年4月30日】

皆川真規、秋山茂樹、大枝安泰、宮入謙、篠原晴子、久保貴寛、岩田祐佳梨、松原由美、長田奈穂美、藤田敦子、内山雅之、石井秀則、杉田大樹、宮本勝行、福田遼太、大谷匠、玉置隼人、未定海、田中一平、宮下富佐子、櫻井茂雄、林健太郎、橋爪秀孝、吉田賢、椎名アサ子、妻鹿ふみ子、飯嶋利夫、岩上章子、家合勇夫、林信貴、渡辺清美、和泉純子、竹村雅裕、太田、大同知子、天井響子、森啓祐、桑文野、松井秋美、松井周星、宮野悠里、金井圭、高瀬比左子、金井一薫、木川俊哉、吉田雄、宅間厚、澤田麻里子、奥津雷三、貴田美津子、麦屋高広、馬上丈司、菅野道生、曾田進、山田理恵子、大成、ブライトビック、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン、SOMPO ちきゅう倶楽部、マルハン、吉川中央ロータリークラブ、生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会千葉県協会、PGA TOUR International Japan, LLC (ZOZO)、伊賀屋、すずとみフーズ、みのりや米店、西商店、よしかわ地域食堂ネットワーク、トヨタレンタリース千葉、フロイデ、関自治会、千葉県立佐原白楊高等学校同窓会、オーウェル その他お名前非公表など31名 ※順不同・敬称略

TOPICS

01 居住支援法人の指定を受けました

2024年2月21日付で千葉県知事から「居住支援法人」としての指定を受けました。居住支援法人は、身元保証人となる親族がない若者、高齢者など賃貸住宅の契約が難しい人に、住宅情報の提供・相談、見守りなどの生活支援を行います。

02 「捜査機関への情報提供に関する対応ポリシー」を策定しました

福祉楽団では相談事業の拡大に伴って捜査機関から情報照会を受けることが増加しています。利用者や相談者のプライバシーを守り、個人情報を保護することを基本として「ポリシー」を策定し公表しました。



こちらから
ご覧いただけます

03 千葉県習志野市 実初パークサイドハウスの建設工事がすすんでいます

児童養護施設「実初パークサイドハウス」や高齢者グループホーム、看護小規模多機能居宅介護「実初パークサイドテラス」の建設工事がすすんでいます。今年の秋の開設を目指してスタッフ大募集です。詳細は Web の求人票をご覧ください。



求人票はこちら

04 合格おめでとう！(50音順・敬称略)

●介護福祉士

- ・加茂航平
- ・菅谷日奈子
- ・中居美奈子
- ・菊地匠
- ・須藤結
- ・英りま
- ・小出彩
- ・高柳陽菜乃
- ・吉井文香
- ・柴田祐平
- ・武多和進弥
- ・山本詩菜

●社会福祉士

- ・清水翔太
- ・濱屋敷勉
- ・宮澤博臣

●精神保健福祉士

- ・山田翔太
- 保育士
- ・大枝真弓
- ・須藤結

●介護支援専門員

- ・木下武
- ・久古浩孝
- ・鈴木鮎美
- ・仲宗根和也

05 学位取得(学士)おめでとう！(敬称略)

●学士(福祉経営)

- ・佐々木久俊

NEW MEMBER

福祉楽団に 新しい仲間が増えました!

- ① 出身地 ② 出身校・学部
- ③ 好きなもの・こと ④ 将来の夢

杜の家くりもと



あんどう まい
安藤 真衣

- ① 神奈川県平塚市
- ② 明治学院大学 社会学部
- ③ SUPER BEAVER・散歩
- ④ 世界旅行!

当事者であれ!



きしもと ゆうり
岸本 優莉

- ① 沖縄県南風原町
- ② 沖縄大学 人文学部
- ③ ひたすらに寝る!
- ④ 安心した暮らしをサポートできる専門職になりたい!

習うより慣れろ



うち ちほ
上地 智宝

- ① 沖縄県豊見城市
- ② 沖縄大学 人文学部
- ③ インテリア・雑貨巡り
- ④ 47都道府県制覇! 未知の世界を開拓!

やるだけじゃなく全力で!



くまざわ そうすけ
熊澤 蒼介

- ① 神奈川県秦野市
- ② 東洋大学 社会学部
- ③ ドライブ・ハリネポッター
- ④ 周囲に安心感を感じてもらえる人になりたい!

人間万事塞翁が馬



おしだ まお
押田 茉桜

- ① 神奈川県相模原市
- ② 文教大学 人間科学部
- ③ 一人旅
- ④ 様々な面で自立する!

無知の知



はやし はるな
林 春菜

- ① 千葉県東庄町
- ② 東洋大学 社会学部
- ③ 動物園・キャンプ・ねこ
- ④ 1人でも多くの人の居場所になる

恩送り

杜の家やしお



あらい わたる
荒井 航

- ① 神奈川県三浦市
- ② 東都大学 幕張ヒューマンケア学部
- ③ カフェ巡り・サッカー
- ④ 福祉関連で会社を設立したい

「礼節」が人を作る



たきざわ ゆずな
滝沢 柚奈

- ① 埼玉県春日部市
- ② 聖学院大学 心理福祉学部
- ③ アイドル・美味しいごはん
- ④ 利用者さんに負担をかけないケアをすること

良民兼雑技を玉にす



おおなみ さくら
大波 さくら

- ① 埼玉県川越市
- ② 立教大学 コミュニティ福祉学部
- ③ ライブに行くこと
- ④ 保育士資格をとって児童養護をやりたい!

「生きる意味や価値」を想う!



たくぼ りえ
田窪 理恵

- ① 千葉県市川市
- ② 武蔵野大学 人間科学部
- ③ アカペラ・コーヒー
- ④ 人の持つ力を引き出せるワーカーになりたい

トライエラー



おかだ しゃいな
岡田 シャイナ

- ① フィリピン マニラ
- ② 草加西高校 普通科(全日制)
- ③ ダンス・読書
- ④ 良い奥さん

美しい日々を過ごしたいから、あはれらしくいられるように努力を始める。



はやし まさふみ
林 成信

- ① 埼玉県越谷市
- ② 文京学院大学 人間学部
- ③ アイドル(ハロプロetc.)
- ④ 利用者さんのことを考え抜ける福祉職

中道



おかむら なみ
岡村 奈美

- ① 新潟県新潟市
- ② 創価大学 文学部
- ③ ディズニー・旅行
- ④ 海外ディズニー制覇!

どんなことでも「やってみる」から始まる



わたなべ まひろ
渡邊 真絢

- ① 千葉県船橋市
- ② 植草学園短期大学 こども未来学科
- ③ いちご・音楽を聴くこと
- ④ 資格を活かして子どもたちと関わってほしい!

正直素直



すぎたに あおと
杉谷 碧仁

- ① 静岡県静岡市
- ② デジタルハリウッド大学 デジタルコミュニケーション学部
- ③ 読書・アニメ鑑賞
- ④ 人生を楽しく過ごしたい!

習慣は第二の天性なり

杜の家なりた



うらかわ はるあ
浦川 晴杏

- ① 茨城県鉾田市
- ② 常磐大学 人間科学部
- ③ ごはんを食べる・花を見る
- ④ 自分のお店を開くこと

晴好雨奇



しまぶくろ れな
島袋 鈴菜

- ① 沖縄県嘉手納町
- ② 琉球大学 人文社会学部
- ③ 歌・ミュージカル
- ④ 『生きづらさ』のない社会づくりに貢献したい!

ちおん



おがた みさき
尾形 幸咲

- ① 千葉県成田市
- ② 大原医療保育福祉専門学校 千葉校
- ③ INI
- ④ 信頼される、頼られる、介護福祉士!

笑顔



なかだい ののか
中台 野乃花

- ① 千葉県習志野市
- ② 聖徳大学 心理・福祉学部
- ③ ライブ・フェス参加
- ④ 笑顔に溢れて、ブレない軸のある人

感情の記憶を大切に



おくやま かえで
奥山 楓

- ① 神奈川県横浜市
- ② ルーテル学院大学 総合人間学部
- ③ ミニチュア作り
- ④ 日本語手話を習得したい!

手を取り合えば無重力



ふじしろ たかし
藤城 敬史

- ① 埼玉県春日部市
- ② 成田国際 福祉専門学校
- ③ テニス・実家の犬と遊ぶ
- ④ まずは介護の仕事で早く覚えたいです。

priority



おのでら まなみ
小野寺 愛美

- ① 千葉県東金市
- ② 茨城大学 人文社会科学部
- ③ 美味しいご飯を食べること
- ④ 自分のケアでたくさんの人を笑顔にしたい!

継続は☆かなり



まつむら みゆ
松村 実結

- ① 東京都墨田区
- ② 埼玉大学 教育学部
- ③ BUMPOF CHICKEN
- ④ 言語聴覚士の資格を取って保育でも高齢でも活躍したい!

迷ったらGO!!



かたやま はると
片山 遥斗

- ① 北海道幕別町
- ② 北海道医療大学 リハビリテーション科学部
- ③ UVERworld・サウナ・散歩
- ④ 格好いい生き様でいる

一人の想いを大切に



むらた みもり
村田 美萌里

- ① 千葉県成田市
- ② 植草学園大学 発達教育学部
- ③ お祭り・つけ麺巡り
- ④ 誰かにとって欠かせない力になること

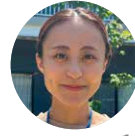
一期一会



さいとう ふた
齋藤 風太

- ① 千葉県佐倉市
- ② 成田国際 福祉専門学校
- ③ ツーリング・釣り・散歩
- ④ バイクで日本一周をしたい

石の上にも三年



よこやま ちか
横山 智咲

- ① 東京都小金井市
- ② 東洋大学 社会学部
- ③ 演劇・赤味噌・旅行
- ④ 白髪の似合うファンキーなおばあちゃん

振袖福



さかもと まゆ
坂本 真裕

- ① 東京都福生市
- ② 大正大学 社会共生学部
- ③ 音楽を聴くこと
- ④ 制度の狭間にいる人々への支援や居場所づくりをしたい!

感謝



わかぎ ひろみ
若木 広海

- ① 東京都町田市
- ② 立教大学 コミュニティ福祉学部
- ③ 食べること・散歩・温泉
- ④ 見えないニーズに気付ける人

笑顔☺



能登半島地震

輪島市の福祉避難所に介護福祉士を派遣

「令和6年能登半島地震」に対する支援として、石川県輪島市内の福祉避難所に介護福祉士の派遣を行いました。福祉楽団を含めた6つの社会福祉法人で臨時的福祉支援チーム「FamSKO（ファムスコ）」を結成し、1月11日から2月21日までの間に延べ369人（うち福祉楽団の職員は105人）の介護福祉士等の派遣を行いました。

福祉避難所となっていた輪島市のグループホーム「海と空」には、介護が必要な高齢者や障害のある人、その家族など30名以上が身を寄せていました。先に支援に入っていた「オレンジホームケアクリニック」（福井県）の紅谷医師や、「ぐるんとびー」（神奈川県）代表の菅原健介さんらの支援チームをバックアップする形で活動を開始しました。

現地までの道路状況は非常に悪く、安全の確保もままならない状況でした。施設では、水道やガスが使えず、仮設トイレもない状態で、支援活動は困難な状況が続きました。要介護者や障害のある人に対しては、安心して過ごせる居場所をつくり、体の清潔や食事などの日常生活をできるだけ早く整えなければ衰弱が急速に進んでしまいます。福祉避難所の重要性が再認識できました。

FamSKOは、4月22日に都内で会合を持ち今回の被災地支援の振り返りを行いました。6つの法人に共通していることとして、現場への信頼があること、介護福祉士の専門性を認めていること、利他的行動の理念を持っていることを確認しました。この経験から、災害支援の初動をサポートするようなハンドブックをつくる作業をすすめており、今秋に発刊する予定です。

※FamSKOの活動の一部は日本財団の助成を受けて実施しました。



text：
理事長
飯田 大輔

福祉支援チームFamSKO

- F 福祉楽団（千葉県）
- a 愛川舜寿会（神奈川県）
- m みねやま福祉会（京都府）
- S 生活クラブ（千葉県）
- K 薫英会（群馬県）
- O 小田原福祉会（神奈川県）



物資輸送の様子



避難所の仮設ベッドをつくる様子



福祉避難所で要介護者の介護をする様子

支援活動に参加した職員の声



こやま ひろと
古山 弘人さん

第1クール

2024年1月12日～16日
杜の家なりた 統括ユニットリーダー
介護福祉士・社会福祉士

初の被災地支援でしたが、不思議と不安はありませんでした。一緒に行くメンバーが経験豊富な先輩だったということもありますが。現地は思ったよりはひどい状況ではなかったものの、支援物資の何がどこにどのくらいあるのかがぐちゃぐちゃだったので、それらを整えるところからでした。日々のケアでやっている感染症対策の基本を徹底したことで、感染拡大を防げたように思います。次回があるならば、今度は自分が経験者として後輩を安心させたいです。



井上 亮介さん

第2クール

2024年1月17日～21日
杜の家やしお 統括ユニットリーダー
介護福祉士

第1クールのメンバーが出発した後、「自分も行きたい」と思いました。自分は心理学の専門職ではないので、被災者の心の傷に寄り添うことはできないかもしれないけれど、介護福祉士として生活や環境を整えることはできる。だから「やれることをやろう」と決めました。避難所はプライベートな空間がなくストレスが溜まりそうな状況でしたが、生活の一つひとつを整える支援をしたことで、結果的に被災者の心に寄り添うことにつながったのではないかと感じています。



ゆうこ
林 有子さん

第6クール

2024年2月6日～10日
杜の家くりもと 生活支援課 課長
看護師

子どもの手が少し離れるようになったので、思い切って支援を決意。輪島市内はビルが倒壊し、家はぐちゃぐちゃでショッキングでした。避難所ではまだ水が出ないものの、第6クールにもなると避難所も落ち着いた場所になりつつあり、求められる支援も変わっていました。その時必要なのは現地のコーディネーターで、私はその役割を担うべく、行政の対応や地域との連携をしました。一週間の支援から戻ってからも心配で、「またすぐに現地に行きたい」と思う日々でした。